

事務事業評価票

所管部長等名	市民協働部長 坂本 正治
所管課・係名	いきいきスポーツ課 管理係
課長名	有馬健一

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	各社会体育施設整備事業(総合体育館バリアフリー整備事業)		「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	社会体育施設整備事業
会計区分	一般会計			
予算の事業名	総合体育館バリアフリー整備事業			
事業コード(大-中-小)	-	-	-	-
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第2章 郷土を拓く人を育むまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③スポーツに親しめる環境づくり		
	施策の展開(項)【施策】	①生涯スポーツの推進		
	具体的な施策と内容	(3)施設の充実・有効活用		
根拠法令、要綱等				
実施手法 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	平成23年度

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	総合体育館利用者	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)	すべての市民が主体的にスポーツに親しみ、継続してスポーツ活動を実践することで、市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域づくりを図るため、スポーツ活動の場となる体育施設の利便性、安全性の向上を図る。
	内容 (手段、手法等)	<input type="radio"/> 自動ドア・手すり設置等バリアフリー工事 <input type="radio"/> 障害者用ニュースポーツ用具購入			
事業開始時点からこれまでの状況変化等		総合体育館は、昭和58年4月に供用開始し、当初は南側出入口事務所横に自動ドアが1ヶ所設置されていた。しかし、他の出入口に自動ドアの要望があったため、南側ホール出入口は平成22年度に1ヶ所設置を行っていた。さらに北側ホール出入口に自動ドアの設置やスロープへの手すり設置、駐車場通路の段差解消が課題となっていた。			

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円		4,856					
	事業費(直接経費)	千円		4,226					
	財源内訳	国・県支出金	千円		4,226				
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
	一般財源	千円							
概算人件費(正規職員)	千円		630						
正規職員	従事者数	人		0.09					
	臨時職員等従事者数	人							
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 整備件数	老朽化等による修繕や改修を行った件数で、1件の事業費が50万円以上のもの。	件		3				
	② 利用者数	施設の利用状況	人	142,287	144,130	150,000	130,000	150,000	120,000
〈記述欄〉※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A 市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域づくりを図るた めには、市民のニーズに合った施設整備を行うとともに、施設の利 便性や安全性を向上させ、市民が安心して利用できる施設づくりを 目指す必要がある。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B (現状分析等) 課題として、施設の老朽化などによる施設・設備の破損や不良の件 数が増加しており予算の確保が充分でない状況にある。安全性確保 の観点からも、優先順位をつけて整備を実施する必要がある。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) 管理運営については、民間委託や指定管理者制度の導入は可能で あるが、施設整備については、スポーツ推進に係る行政の判断が重 要という観点から市が行う必要がある。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 各種スポーツイベントや市民の日常的なスポーツ活動など多くの市民が利用している施設であ り、安心安全な施設を維持していくためにも市による実施が適当である。																							
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 市民の多様なスポーツ活動を推進し、安心安全な施設づくりを推進するため、スポーツ施 設の現状と課題を総合的に分析し、効率的、効果的に施設整備が推進できるようスポーツ 施設整備計画を策定する。	改革改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td align="center">○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持																								
	低下																								

外部評価の実施	無	実施年度	
---------	---	------	--

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------